

通販の売り上げ増

ネットショップを改善

中村屋

丹波産の黒大豆を使った「丹波黒豆甘納豆」を看板商品に和菓子を製造する(株)中村屋(本社・綾部市栗町、中村保社長)はネット通販事業に副業人材を活用して売り上げ増加につなげている。

丹波産の黒大豆を使った「丹波黒豆甘納豆」を看板商品に和菓子を製造する(株)中村屋(本社・綾部市栗町、中村保社長)はネット通販事業に副業人材を活用して売り上げ増加につなげている。

ネットショップの立ち上げや改善に関わった経験がある副業人材を

大島さんは「社内の人間だけでは知識に限界があり、業務を外注することの効果を実感した。今回の経験から壁にぶち当たれば人材を採せばいいと知れただけでも良かった」と話している。

ネットショップを担当する大島さん(福知山市大野下の福知山工場)



ネットショップを担当する大島さん(福知山市大野下の福知山工場)

丹後自動車振興

最先端の教習所に 自動車業界の動向探る

いわゆる自動車業界などの動向を探り、戦略に生かすのが目的だ。地方でも最先端の情報把握し、これからの時代に即した教習所を目指す。

現在、自動車業界で電気自動車(EV)や自動運転の技術開発が加速する。車の在り方が大きく変化しようという時期に次世代のモビリティ(移動手段)が生まれ、免許制度が変わることもあり得る。教習所も変革期を迎えつつあるが、同社が事業戦略を立てるには情報が不足している。



副業人材による調査結果を見る中村常務(与謝野町弓木)

企業が課題解決や新分野進出などを行う際、即戦力の人材として注目を集める「副業人材」。特に従業員数が少ない中小企業にとって、自社にはないノウハウを比較的容易に得られる手段としてメリットは大きく、北近畿でも副業人材を活用する企業が増えている。こうした人材を有効に活用し、事業拡大に活路を見いだしている企業の取り組みを追った。

課題解決や新分野進出へ

副業人材で活路

始めたところ、少しずつ注目が伸びてきたという。

更に昨年5月には販路拡大の講座も受講し、商品写真の撮り方や見せ方などネットショップの改善点について受講者から指摘を受けた。しかし、自分で取り組むことに限界を感じた大島さんは

千代屋

副業人材を活用して新規事業を立ち上げる千代屋の本社(宮津市住吉)

新たに結婚相談所 婚礼事業の内容充実も



貸衣裳業の(有)千代屋(本社・宮津市住吉、竹原博史社長)は、婚礼事業の内容充実や新規事業立ち上げに2人の副業人材を活用している。

一人は式場のプランニングディレクターを

相談所は府北部の人口減少という課題に対して取り組む新事業で、地元の人同士が結婚する機会を増やすのが狙い。副業人材の男性には、どういったターゲットに、どのように発信していけばいいのかという、新たな仕組みを構築してもらっているという。

〔樋口〕

同社は宮津と福知山、舞鶴に3店舗を構えている女性で、昨年10月から活用。既存事業の改善点を洗い出し、今後のサービス向上につなげていくという。

もう一人は大手結婚式場の役員経験者の男

副業人材を活用することについて竹原社長(47)は、「経営者である自分自身や従業員が持っていない知識を取り入られるのが利点」と話し、「これからも必要に応じて人材を活用し、地域に必要とされる会社になれるよう努力していきたい」と話している。

副業人材による調査結果を見る中村常務(与謝野町弓木)

契約期間は昨年9月11月で、報酬は月額10万円ほど。随時、報告を受けながら、求める情報などを伝えた。最終的には膨大な量のデータに基づいて教習所業界の動向やモビリティ革命の時期などが示されたほか、事業戦略の提案もあったという。今後一人の人材には継続的に業務を依頼する方針だ。

同社の中村智幸常務(33)は「優秀な人材を雇用することは難しいが、副業人材なら確

保しやすく費用対効果も高い」と指摘。「最先端を走る人材の『頭脳』を経営に生かしていきたい」と語る。

「自分たちの能力以上のことを生み出すのが難しく、他の人の考え